

AYA世代の子宮頸がん向き合う

守る未来を医療

事前申込
不要

参加費
無料

開催日時

2025

9.21 日

10:00～12:00(開場 9:30)

会場

柏の葉カンファレンスセンター
(三井ガーデンホテル柏の葉2F)



歓迎

※お子様連れの方もご安心ください。

視聴可能なスペースをご用意しておりますので、一緒にご来場いただけます。



市民公開講座の概要

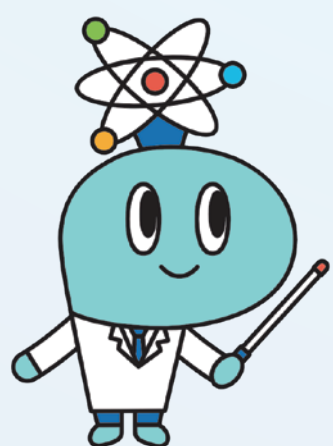
子宮頸がんは、30代～40代の親世代に多く発症する一方で、その予防は10代のうちから始めることができます。

今回の市民公開講座では、「予防」と「治療」の両面から子宮頸がんに向き合うための知識を、最新の医学的知見とともにわかりやすくお届けします。

HPV ワクチン接種による予防や検診の重要性、また実際にがんと診断された後の手術・薬物療法・放射線治療など、多角的な視点から理解を深めます。

さらに、思春期世代である中学生の声も交えることで、「もし家族ががんになったら？」という問いに、子どもと大人と一緒に考える機会を提供します。また、思春期の時期から変わって医学部生となった立場から、AYA 世代のがんの予防や治療について改めて気づいたことも共有します。

自分や大切な人を守るために、今、知っておきたいことがあります。ぜひご家族でご参加ください。



お問い合わせ先

第130回 日本医学物理学会学術大会事務局
(新松戸高精度放射線治療センター医学物理室内)

住所

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸 1-380

メールアドレス

jsmp130@ims.gr.jp

講演・発表スケジュール

- 開会の挨拶
日本医学物理学会 会長 福田 茂一
- 母や妹ががんになってしまったなら
麗澤中学校 3年 橘 航太郎
- 医学部生になって気づいたAYA世代のがんの予防や治療
弘前大学医学部 4年 成田 真綺
- 子宮頸がんの予防と治療
国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 石川光也
- 子宮頸がんの放射線治療(医学)
新松戸高精度放射線治療センター 放射線治療科 伊丹 純
- 子宮頸がんの放射線治療(医学物理の役割)
新松戸高精度放射線治療センター 医学物理室 成田 雄一郎
- 質疑応答
- 閉会の挨拶
第130回日本医学物理学会学術大会 大会長 成田 雄一郎